

令和元年度和歌山県学習到達度調査結果の概要

1 調査の概要

(1) 調査日 令和元年10月16日(水)

(2) 調査の目的

児童生徒の学力の定着状況をきめ細かく把握し、指導方法の工夫・改善に役立てるとともに、個に応じた指導を充実させ、学習指導要領に示された学習内容の定着を図る。

(3) 調査内容

①調査教科

小学校調査の第4学年は国語・算数，第5学年は国語・算数・理科
中学校調査の第1学年は国語・数学，第2学年は国語・数学・理科

②調査を実施した学校，児童生徒

ア 小学校調査

公立の小学校第4・5学年，義務教育学校前期課程第4・5学年，特別支援学校小学部第4・5学年

イ 中学校調査

公立の中学校第1・2学年，義務教育学校後期課程第1・2学年，特別支援学校中学部第1・2学年

	学校数	学年	児童生徒数		
			国語	算数・数学	理科
小学校	234校	第4学年	7,121人	7,122人	—
		第5学年	7,383人	7,376人	7,383人
中学校	123校	第1学年	6,783人	6,788人	—
		第2学年	6,600人	6,596人	6,608人

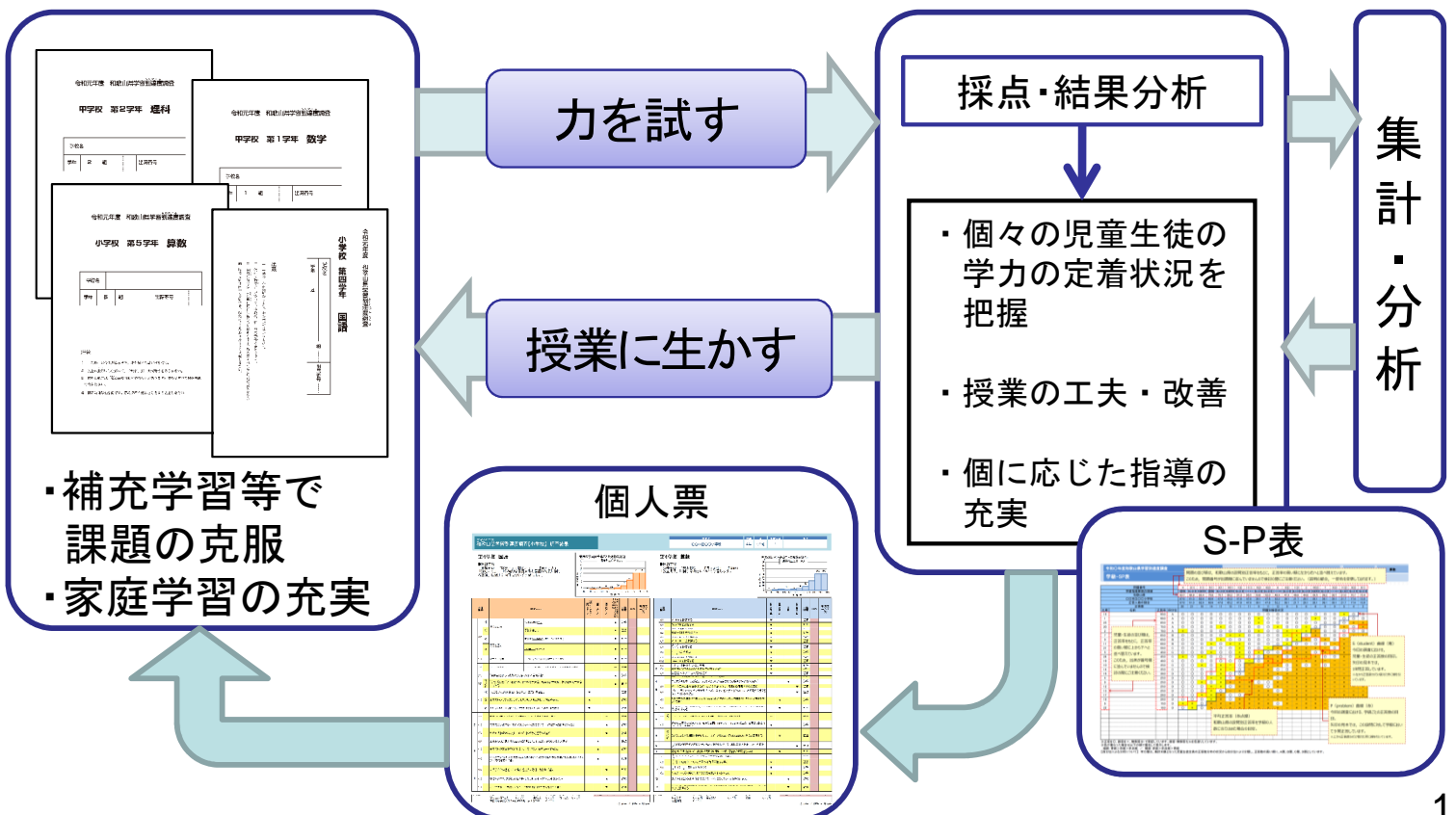
和歌山県学習到達度調査の意義

調査を生かして学力の定着！

児童生徒

学校・教員

県教委



○言葉の辞書的な意味とその使い方を理解することや、文章とグラフの関係を的確に押さえて読むことについては、おおむねできているが、文章をよりよい表現に書き直すことや、つなぎ言葉を用いて文と文をつなぐこと等に課題がある。

□正答率が高かった問題 ■課題が見られた問題

【第4学年】

□言葉の辞書的な意味とその使い方を理解することについては、相当数の児童ができています。

[4] (4) 正答率 89.1% 無解答率 6.3%

■文章をよりよい表現に書き直すことに課題がある。

[2] (3) 正答率 20.9% 無解答率 22.8%

【第5学年】

□文章とグラフの関係を的確に押さえて読むことについては、おおむねできている。

[1] (1) 正答率 70.1% 無解答率 0.6%

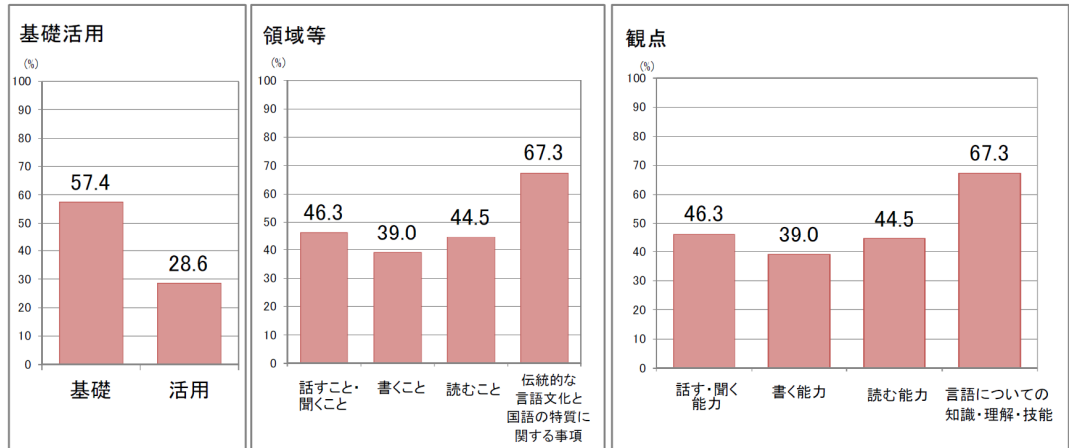
■つなぎ言葉を用いて、文と文をつなぐことに課題がある。

[4] (4) 正答率 17.1% 無解答率 18.2%

正答率の比較

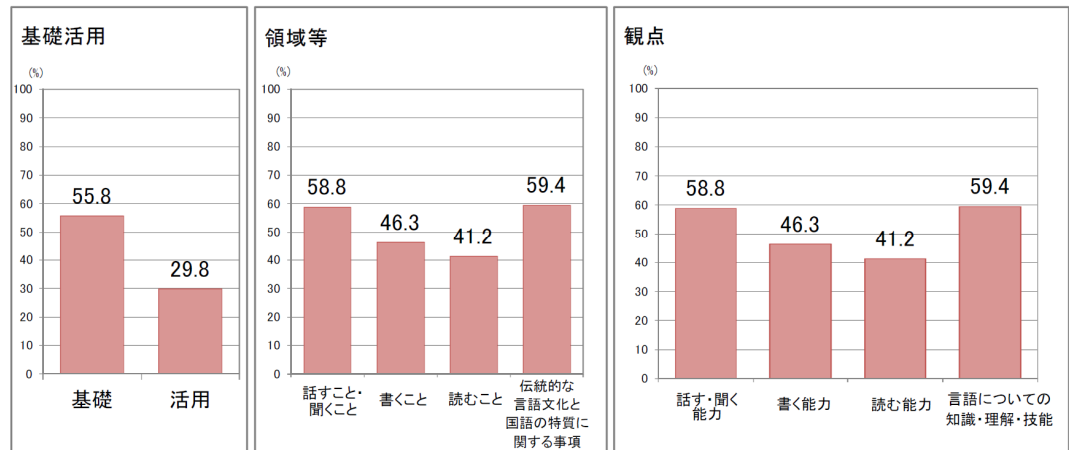
第4学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
53.0	10.1



第5学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
51.9	8.6



小学校算数

○整数の除法や図形の合同等，基礎的・基本的な知識・技能を問う問題については相当数の児童が理解できているが，複数の思考過程を必要とする問題や，考え方や問題の解き方を言葉で説明する問題等に課題がある。

□ 正答率が高かった問題 ■ 課題が見られた問題

【第4学年】

□ 全体の量を等しく分けたときの1人分が何こになるかを考えて答えを求めることについては，相当数の児童ができている。

[6] (2) 正答率 81.8% 無解答率 4.4%

■ 図形を構成する要素に着目し，ひし形だと判断できる理由を説明することに課題がある。

[11] 正答率 17.6% 無解答率 30.2%

【第5学年】

□ 対応する角の大きさを理解することについては，相当数の児童ができています。

[4] 正答率 93.7% 無解答率 0.3%

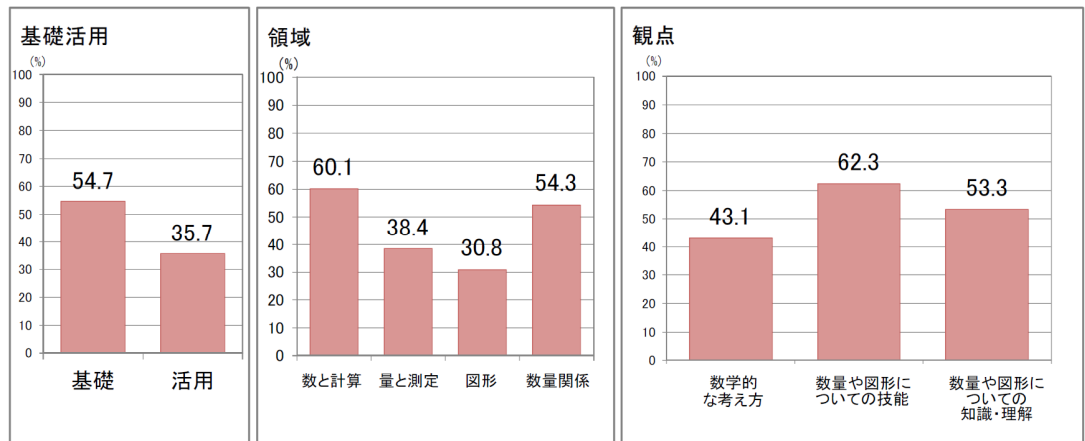
■ 除法に関して成り立つ性質を用いて，小数の除法を計算しやすい式にすることに課題がある。

[9] (1) 正答率 15.4% 無解答率 10.7%

正答率の比較

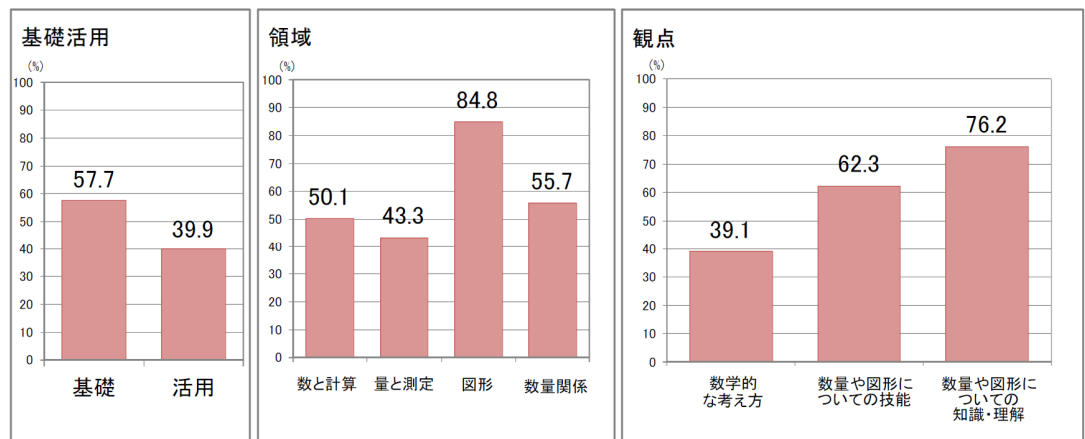
第4学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
50.9	7.2



第5学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
54.2	7.4



中学校国語

○意味に応じた正しい慣用句を選択することや、話の論理的な構成や展開などに注意して聞くことについては、相当数の生徒ができていますが、話の構成の工夫や、場に応じた適切な言葉遣いを考えて話すこと、複数の資料から適切な情報を得て、自分の目的に応じて引用すること等に課題がある。

□ 正答率が高かった問題 ■ 課題が見られた問題

【第1学年】

□ 慣用句を理解することについては、相当数の生徒ができています。

[①] (5) 正答率 86.8% 無解答率 0.5%

■ 話の構成の工夫や、場に応じた適切な言葉遣いを考えて話すことに課題がある。

[②] (1) 正答率 26.7% 無解答率 0.8%

【第2学年】

□ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞くことについては、相当数の生徒ができています。

[②] (1)① 正答率 83.2% 無解答率 0.7%

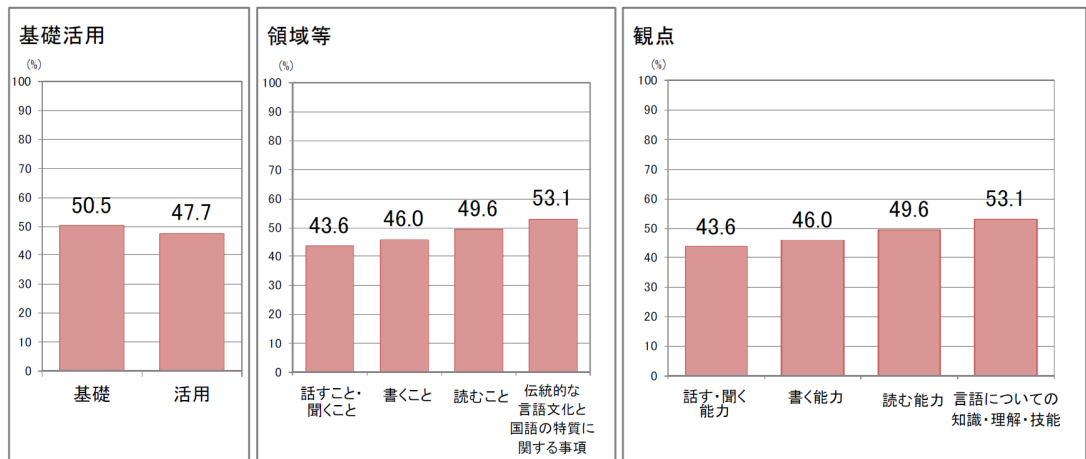
■ 複数の資料から適切な情報を得て、自分の目的に応じて引用することに課題がある。

[⑤] (2) 正答率 11.1% 無解答率 13.7%

正答率の比較

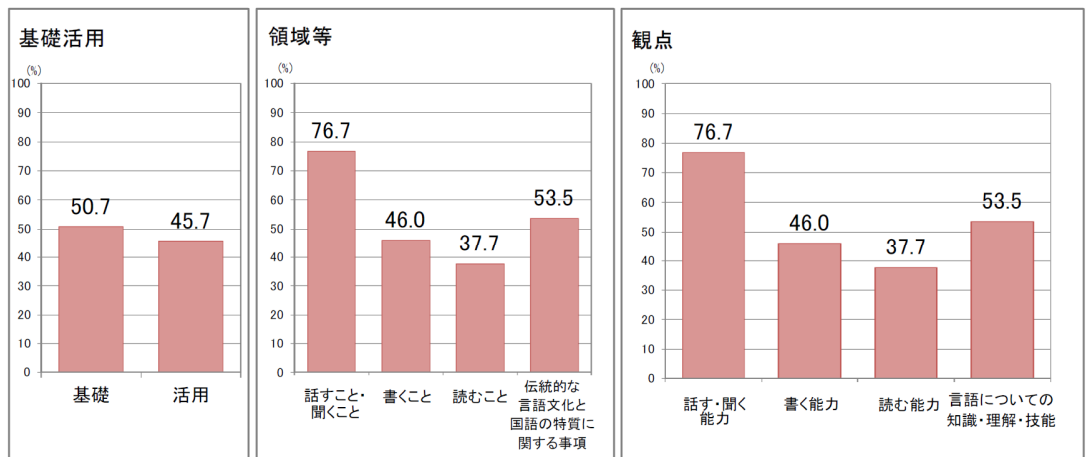
第1学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
49.9	5.4



第2学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
49.9	6.5



中学校数学

○四則計算等、基礎的・基本的な知識・技能を問う問題については、相当数の生徒ができていますが、具体的な場面において、事象を正の数、負の数を用いて表現し考察する問題、事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明する問題等に課題がある。

□ 正答率が高かった問題 ■ 課題が見られた問題

【第1学年】

- 一元一次方程式を解く場面における移項を理解することについては、相当数の生徒ができています。
[9] (2) 正答率 83.2% 無解答率 1.5%]
- 具体的な場面において、事象を正の数、負の数を用いて表現し考察することに課題がある。
[6] (2) 正答率 43.5% 無解答率 14.1%]

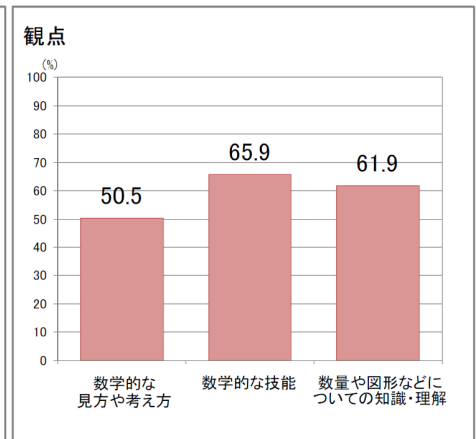
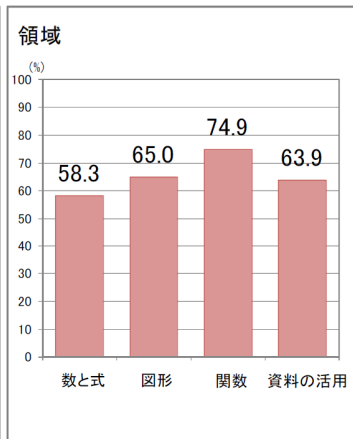
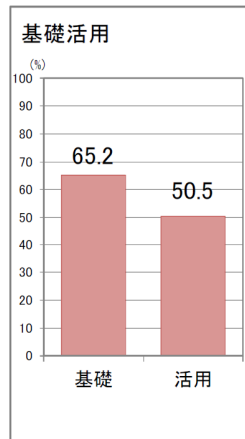
【第2学年】

- 一次関数のグラフの特徴を理解することについては、相当数の生徒ができています。
[10] (2) 正答率 85.1% 無解答率 2.1%]
- 事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することに課題がある。
[7] (2) 正答率 9.1% 無解答率 22.6%]

正答率の比較

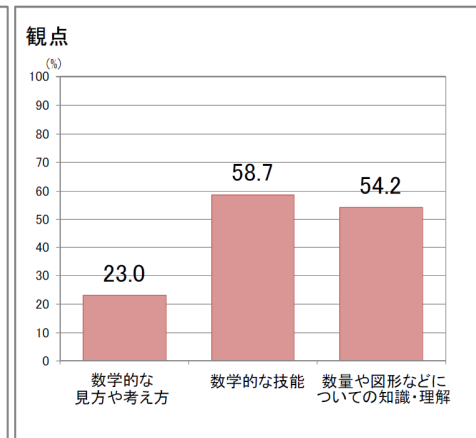
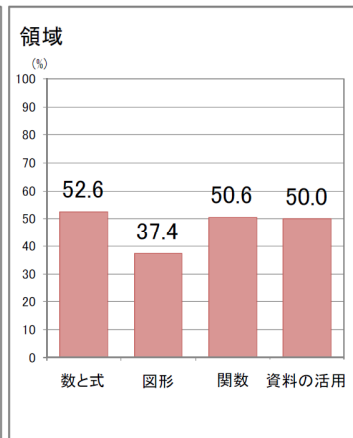
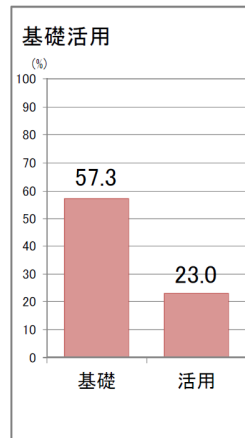
第1学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
62.3	4.2



第2学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
50.4	8.5



小学校理科

○台風と天気の関係において、雲画像をもとに特定の地域の天気を読み取る問題については、相当数の児童ができていますが、かん電池の向きと電流の向きとモーターの回る向きを関連付けること等に課題がある。

□ 正答率が高かった問題 ■ 課題が見られた問題

【第5学年】

□ 気象衛星から撮影された雲画像をもとに、台風による天気を読み取ることについては、相当数の児童ができています。

[⑧] (2) 正答率 93.2% 無解答率 1.3%

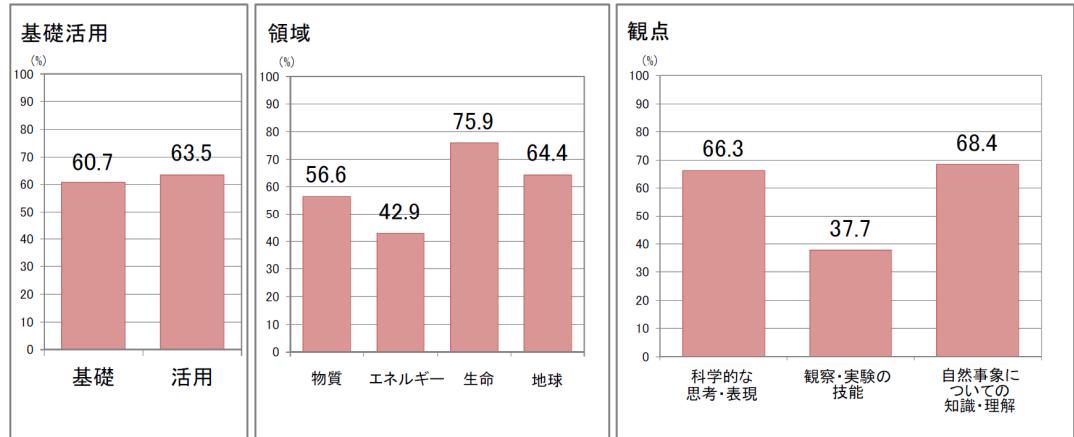
■ かん電池の向きと電流の向きとモーターの回る向きを理解することに課題がある。

[⑤] (1) 正答率 25.6% 無解答率 1.7%

正答率の比較

第5学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
61.3	2.7



中学校理科

○生物の生育分布から、生息環境を選択する問題については、相当数の生徒ができていますが、課題を解決するための実験の方法を考え、その方法から得られる結果を説明すること等に課題がある。

□ 正答率が高かった問題 ■ 課題が見られた問題

【第2学年】

□ タンポポとドクダミの生育分布から、生息環境を指摘することについては、相当数の生徒ができています。

[①] (1) 正答率 87.0% 無解答率 0.2%

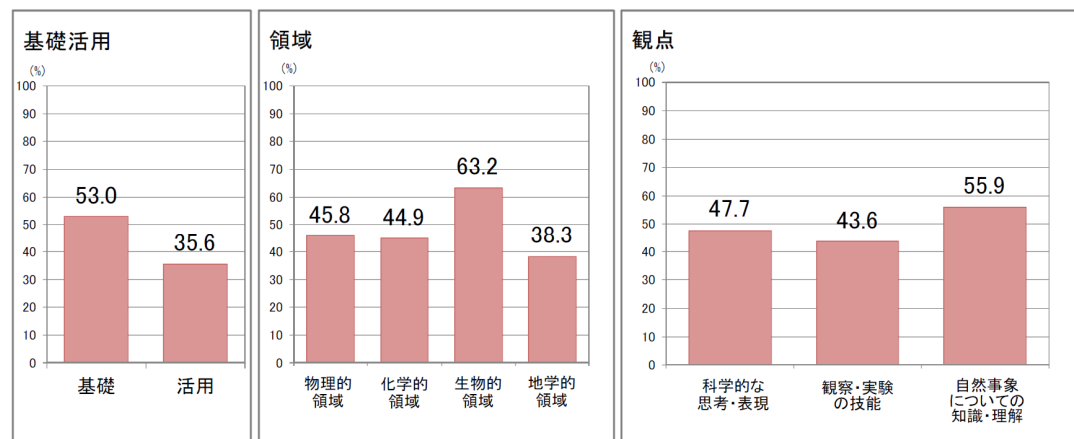
■ 塩化ナトリウム水溶液を蒸留した液体に、塩化ナトリウムが含まれていないことを確かめる方法を考え、その結果を説明することに課題がある。

[②] (2) ab 正答率 14.3% 無解答率 6.5%

正答率の比較

第2学年

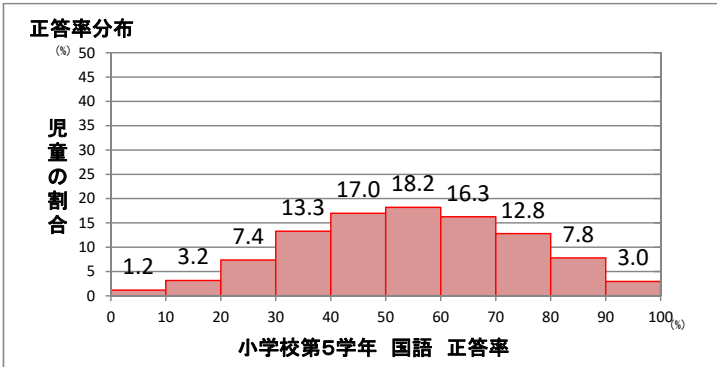
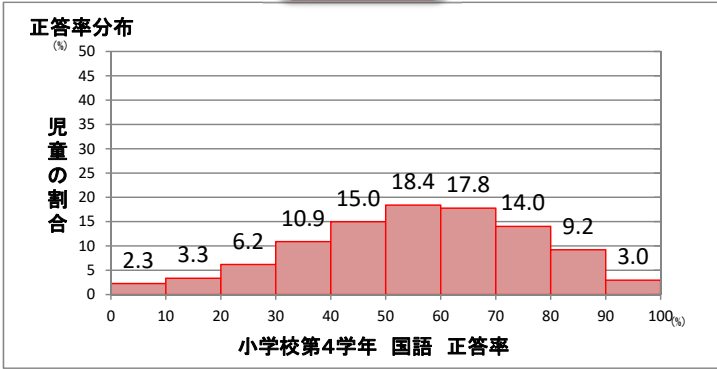
平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
49.5	8.2



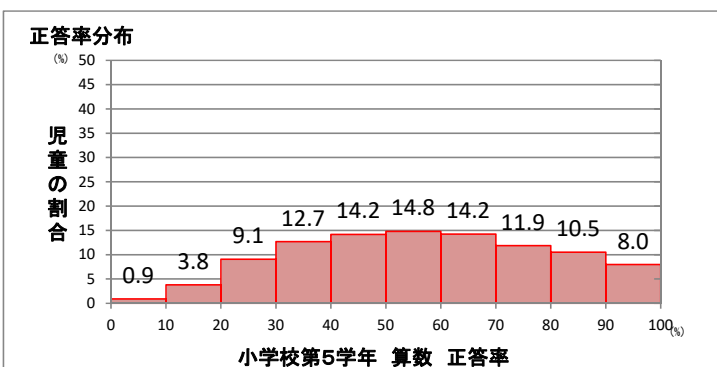
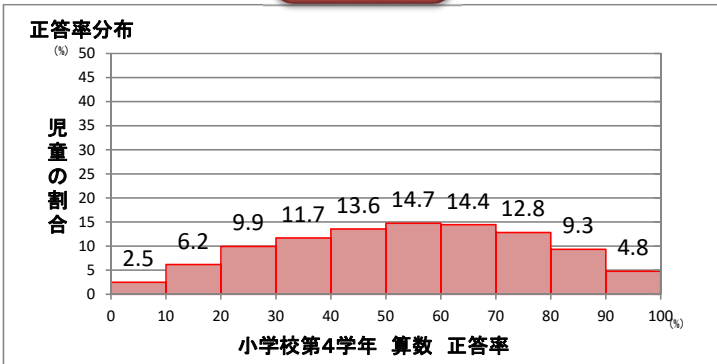
3 各教科の平均正答率の分布グラフ

小学校

国語



算数

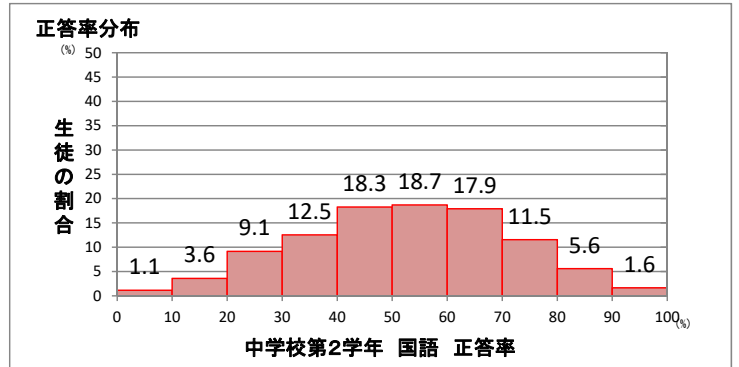
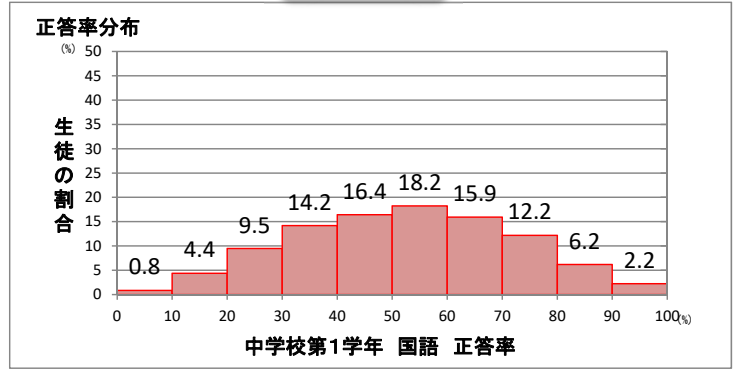


理科

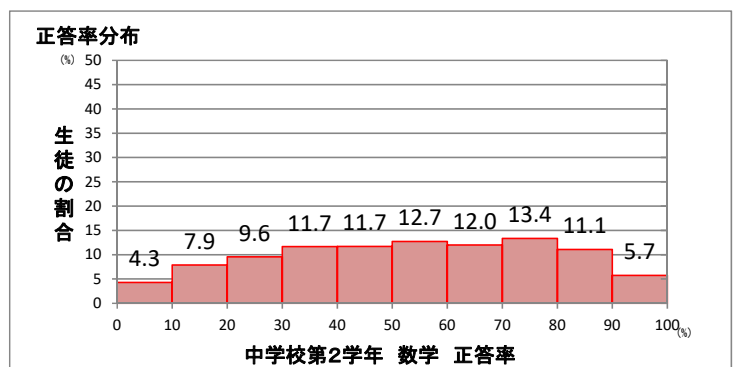
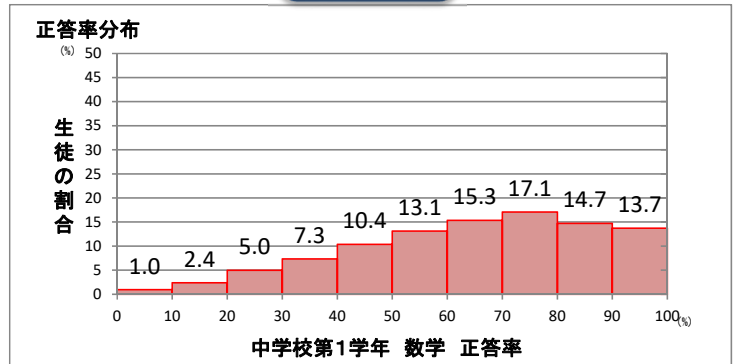


中学校

国語



数学



理科

